

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		防災まちづくり事業			事業コード	0030
担当課等	所属名	総務部 消防防災課		担当係名		
	課長名	総務部 消防防災課	担当者名	総務部 消防防災課 藤原	電話番号	内線5223

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	安全な暮らし	コード 2	施策	火災に強い消防体制の構築	コード 2
	基本事業	消防力の強化	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 9款 1項 4目 防災まちづくり事業(001-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 不明年度年度~)		
事務事業の概要	地域防災の充実のため、消防施設の整備や消防ポンプ自動車等の整備を実施する。					
根拠法令等	消防組織法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
消防屯所の老朽化とともに防災研修施設の必要性が高まったため、昭和50年代から順次地区コミュニティ消防センターの建設を行っている。また、消防ポンプ自動車等の経年劣化に伴う消防体制の後退を防ぐため、更新配備を開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
議会から消防施設の整備拡充について要望されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
東日本大震災の発生により、消防行政への要望、期待が強くなっており、今後さらなる消防体制の整備が必要である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	消防関係車両 消防無線機器 地区コミュニティ消防センター	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 消防団の消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ付積載車保有台数	単位	台
				B. 消防無線電話の保有数	単位	基
				C. 設置すべき地区コミュニティ消防センター・屯所数	単位	館
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①消防ポンプ自動車等の更新 消防団に配備している消防ポンプ自動車等のうち、更新時期を経過しているものを購入した。(ポンプ車2台、小型動力ポンプ付積載車2台、小型動力ポンプ付軽積載車1台) ②コミュニティ消防センター等の整備 消防団の拠点施設として、松内消防屯所を建設した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①消防ポンプ自動車等の更新 消防団に配備している消防ポンプ自動車等のうち、更新時期を経過しているものを購入する。(ポンプ車2台、小型動力ポンプ付積載車1台、小型動力ポンプ付軽積載車1台) ②コミュニティ消防センター等の整備 消防団の拠点施設として、寺林消防屯所の建設を実施する。飯岡地区コミュニティ消防センターの地質調査、設計を実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 消防団の消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車及び活動車の新規・更新台数	単位	台
				B. 消防無線電話の更新数	単位	基
				C. 地区コミュニティ消防センター・屯所の建設数	単位	館
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	消防施設を整備することにより、災害に対する住民の安全を確保する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 地区コミュニティ消防センターの利用者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	人
				B. 耐用年数内の無線機器の比率=耐用年数内の機器数÷保有全機器数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				C. 耐用年数内の消防車両の比率=耐用年数内の車両数÷保有全車両数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献する)	火災に迅速に対応できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	覚知から放水までの平均所要時間(単位:分)		

【か】

A horizontal line with four vertical tick marks. The first tick mark is at the left end, followed by a second, a third, and a fourth at the right end. The space between the first and second tick marks is significantly larger than the spaces between the other three tick marks.

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	消防団の消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ付積載車保有台数	台	76	76	76	76	76	76	26年度 76
対象 指標B	消防無線電話の保有数	基	58	58	58	58	58	58	26年度 58
対象 指標C	設置すべき地区コミュニティ消防センター・屯所数	館	1	2	1	1	1	1	26年度 1
活動 指標A	消防団の消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車及び活動車の新規・更新台数	台	4	4	5	5	4	4	26年度 4
活動 指標B	消防無線電話の更新数	基	0	0	0	0	0	0	26年度 0
活動 指標C	地区コミュニティ消防センター・屯所の建設数	館	1	2	1	1	1	1	26年度 1
成果 指標A	地区コミュニティ消防センターの利用者数	人	25100	20020	20840	23090	23090	23090	26年度 25440
成果 指標B	耐用年数内の無線機器の比率＝耐用年数内の機器数÷保有全機器数	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標C	耐用年数内の消防車両の比率＝耐用年数内の車両数÷保有全車両数	%	71.05	71.05	71.05	71.05	72.37	72.37	26年度 72.37

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	64,425	134,658	74,830	70,340	61,460	102,802	*****
財源 内訳	④国	千円		29,690					*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円	59,400	88,200	66,800	64,200	51,700	90,700	*****
	⑦一般財源	千円	5,025	16,768	8,030	6,140	9,760	12,102	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④～⑧)(=A)	千円	64,425	134,658	74,830	70,340	61,460	102,802	*****
	延べ業務時間数	時間	300	300	300	300	300	300	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	65,625	135,858	76,030	71,540	62,660	104,002	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 事業の適切かつ迅速な対応が、災害発生時の初期対応に大きく役立つ。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民の生命・身体・財産を火災や災害から守るのは、行政の責務である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: コミュニティ消防センターや消防車両並びに消防機器について、内容の充実は求められるが対象の設定としては妥当と考える。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 事業の拡大により成果が向上し、防災体制を充実強化することができるが、現状の事業の維持により災害への対応は確保されると判断する。
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 施設や消防車両並びに消防機器の充実により、よりよい防災体制を築くことができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市民の安心・安全を確保できない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性 評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の予算で建設及び購入を実施しており、削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 人件費との整合性はない。
公平性 評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益者には公平な機会を与えている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 地域防災の拠点であるとともに、コミュニティ施設でもあることから地域住民への負担はなじまない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 消防ポンプ自動車や消防施設・装置の整備を計画的に実施することにより、消防防災行政の一層の促進を図る。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 地域防災力を維持するため、計画的な更新整備を実施したいが、物価上昇等により予算不足が生じてきているため、適正な予算措置が必要となる。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>東日本大震災の発生を契機として、より強力な防災体制の構築が求められていることから、これまで以上に防災施設等の整備充実を図る必要がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>災害時に十分な機能を発揮できるよう、老朽化した施設・設備の計画的な更新を図る。また、消防団の分団部の統廃合等についても検討し、施設・設備の効率的な配備に努めていく。</p>								